

生田緑地とその周辺の蝶相変化

増 淵 和 夫*

Changes of Butterflies in the Ikuta-Ryokuch Park and Neighborhood, Kawasaki City

Kazuo MASUBUCHI

I はじめに

川崎市青少年科学館は川崎市及びその周辺の自然史に関わる資料の収集に努めているが、この度蝶類の標本資料の整理を終えたので報告する。既に、林ほか(1991)によって川崎市域の蝶相についての報告がなされている。林ほか(1991)の報告と科学館収蔵蝶類標本、さらに文献資料を加えることにより、生田緑地(川崎市多摩区柘形)とその周辺の蝶相変化について若干の知見を得ることができた。

II 川崎市青少年科学館収蔵生田緑地蝶類標本

1972年から1991年までに生田緑地で採集され、標本化された蝶類(ガ類を除く)は、以下のように7科42属48種(セセリチョウ科6種, アゲハチョウ科6種, シロチョウ科6種, シジミチョウ科13種, ウラギンシジミ科1種, テングチョウ科1種, タテハチョウ科8種, ジャノメチョウ科7種)である。(種名の後の, 記号, 数字は川崎市青少年科学館登録番号, その後の人名, 数字は採集者と採集年を示す。)

セセリチョウ科 Hesperiiidae

1. ダイミョウセセリ *Daimio tethys* (Ménétrières)

3I-LR-1-0021, 0022, 0023, 0024, 0025, 0026,
0027, 0028, 0051, 0053, 0054, 0055, 0120
沢木 基治 1973, 若宮 崇令 1980, 1981,
不明 1991

2. オオチャバネセセリ *Polytremis pellucida* (Murray)

3I-LR-1-0029, 0030, 0031, 0032, 0033, 0034,

0035, 0036, 0037, 0038, 0060, 0061, 0062,
0063, 0091,

沢木 基治 1973, 若宮 崇令 1980, 1981,
市民自然調査団 1989

3. イチモンジセセリ *Parnara guttata* (Bremer et Grey)

3I-LR-1-0042, 0043, 0064, 0078, 0079, 0080,
0082

沢木 基治 1973, 若宮 崇令 1980, 1981,
市民調査団 1988, 1989,

4. コチャバネセセリ *Thoressa varia* (Murray)

3I-LR-0044, 0045, 0046, 0047, 0048, 0056,
0057, 0058

沢木 基治 1973, 若宮 崇令 1980, 1981

5. ホソバセセリ *Isoetes lamprospilus* (C. et R. Felder)

3I-LR-1-0049, 0122, 0123

不明 1977, 若宮 崇令 1980

6. キマダラセセリ *Potanthus flavum* (Murray)

3I-LR-1-0050, 0065

沢木 基治 1973, 若宮 崇令 1980

アゲハチョウ科 Papilionidae

1. カラスアゲハ *Papilio blanor dehaanii* (C. et R. Felder)

3I-LR-9-0026, 0028, 0029, 0128, 0129

*川崎市青少年科学館

- 若宮 崇令 1979, 1981, 1983
2. クロアゲハ *Papilio protenor demetrius*
(Cramer)
3I-LR-9-0033, 0034, 0035, 0036, 0114, 0115,
0116,
不明 1977, 若宮 崇令 1980, 1981
3. アオスジアゲハ *Graphium sarpedon nipponum*
(Fruhstorfer)
3I-LR-9-0038, 0126, 0127
若宮 崇令 1981
4. キアゲハ *Papilio machaon hippocrates*
(C. et R. Felder)
3I-LR-9-0039, 0042, 0111, 0113
不明 1977, 若宮 崇令 1981
5. アゲハ *Papilio xuthus*
(Linné)
3I-LR-9-0046, 0047, 0050, 0051, 0052, 0053,
0054, 0055, 0056, 0121,
不明 1977, 若宮 崇令 1979, 1980, 1981
6. モンキアゲハ *Papilio helenus nicconicolens*
(Butler)
3I-LR-9-0064,
沢木 基治 1979
- シロチョウ科 Pieridae
1. キチョウ *Eurema hecabe mandarina*
(de L'orza)
3I-LR-18-0034, 0035, 0036, 0037, 0038, 0039,
0040, 0041, 0042, 0043, 0044, 0045, 0046,
0047, 0048, 0049, 0050, 0105, 0106, 0107,
0108, 0177, 0178, 0179, 0183, 0187, 0188,
0189, 0190, 01910248
沢木 基治 1973, 不明 1977,
若宮 崇令 1979, 1980, 1981,
市民自然調査団 1988
2. モンキチョウ *Colias erate poliographus*
(Motshulsky)
- 3I-LR-18-0052, 0157
若宮 崇令 1982, 市民自然調査団 1989
3. ツマキチョウ *Anthocaris scolymus*
(Butler)
3I-LR-18-0064, 0065, 0066, 0067, 0068, 0069,
0070, 0071, 0072, 0073, 0074, 0099, 0100,
0101, 0102, 0251, 0252, 0253, 0254, 0255,
0256
沢木 基治 1973, 市民自然調査団 1977, 若
宮 崇令 1982, 市民自然調査団 1990
4. スジグロシロチョウ *Pieris melete*
(Ménétrières)
3I-LR-18-0075, 0076, 0077, 0078, 0079, 0080,
0081, 0089, 0090, 0111, 0112, 0113, 0162,
0163, 0164, 0232, 0233, 0235, 0236,
沢木 基治 1973, 不明 1977, 若宮 崇令
1982, 若宮 崇令, 木下 あけみ 1983, 市民
自然調査団 1988, 1990,
5. モンシロチョウ *Pieris rapae crucivora*
(Boisduval)
3I-LR-18-0084, 0095, 0096, 0139, 0144, 0211,
0221, 0222
沢木 基治 1972, 不明 1977, 若宮 崇令
1982, 市民自然調査団 1988, 1989, 1990
6. ツマグロキチョウ *Eurema lacta bethesba*
(Janson)
3I-LR-18-0109
沢木 基治 1973
- シジミチョウ科 Lycaenidae
1. ルリシジミ *Celastrina argiolus ladonides*
(de L'orza)
3I-LR-29-0045, 0046, 0047, 0048, 0049, 0050,
0051, 0052, 0053, 0054, 0055, 0056, 0057,
0058, 0059, 0060, 0061, 0062, 0064, 0065,
0066, 0067, 0068, 0137, 0138, 0139, 0140,
0192, 0193, 0194, 0195,
沢木 基治 1973, 若宮 崇令 1981, 市民自
然調査団 1988

2. ベニシジミ *Lycaena phlaeas daimio*
(Seitz)
3I-LR-29-0069, 0070, 0071, 0072, 0073, 0074,
0075, 0076, 0148, 0149, 0223, 0229, 0250
沢木 基治 1973, 若宮 崇令 1980, 1989,
1990
3. ゴイシシジミ *Taraka hamada*
(Druce)
3I-LR-29-0100, 0101, 0145,
沢木 基治 1973, 若宮 崇令 1980
4. アカシジミ *Japonica lutea*
(Hewitson)
3I-LR-29-0098, 0127, 0128, 0129, 0242, 0311
沢木 基治 1973, 若宮 崇令 1981, 市民自
然調査団 1988, 1990
5. ミズイロオナガシジミ *Antigius attilia*
(Bremer)
3I-LR-29-0091, 0121, 0122, 0159, 0188, 0189,
0190,
沢木 基治 1973, 若宮 崇令 1981, 1983,
市民自然調査団 1988
6. トラフシジミ *Rapala arata*
(Bremer)
3I-LR-29-0102, 0103,
若宮 崇令 1981
7. ウラゴマダラシジミ *Artopoetes pryri*
(Murray)
3I-LR-29-0105, 0120, 0246, 0312
沢木 基治 1973, 若宮 崇令 1981, 市民自
然調査団 1988, 1990
8. ウラナミシジミ *Lampides boeticus*
(Linné)
3I-LR-29-0092, 0093, 0094, 0095, 0096, 0097,
0134, 0135, 0136
沢木 基治 1973, 若宮 崇令 1980
9. ツバメシジミ *Everes argiades hellotia*
(Ménétrières)
- 3I-LR-29-0106, 0107, 0108, 0109, 0141, 0142,
0143, 0144,
沢木 基治 1973, 若宮 崇令 1980, 1981
10. ヤマトシジミ *Zizeeria maha argia*
(Ménétrières)
3I-LR-29-0110, 0111, 0112, 0113, 0130, 0131,
0132, 0133, 0205, 0215, 0216, 0272, 0273,
0274
沢木 基治 1973, 若宮 崇令 1980, 市民自
然調査団 1988, 1989, 1990
11. ムラサキシジミ *Narathura japonica*
(Murray)
3I-LR-29-0186, 0187,
市民自然調査団 1988, 1989
12. ミドリシジミ *Neozephyrus taxila japonicus*
(Murray)
3I-29-0245
市民自然調査団 1988
13. オオミドリシジミ *Favonius orientalis*
(Murray)
3I-LR-29-0123, 0124, 0125, 0126
沢木 基治 1973
- ウラギンシジミ科 Curetidae
1. ウラギンシジミ *Curetis acuta paracuta*
(de Nicéville)
3I-LR-29-0084, 0085, 0086, 0087, 0088, 0089,
0114, 0115, 0116, 01180235, 0236, 0237
沢木 基治 1973, 若宮 崇令 1979, 1980,
1981, 市民自然調査団 1988
- テングチョウ科 Libytheidae
1. テングチョウ *Libythea celtis celtoides*
(Fruhstorfer)
3I-LR-54-0005
市民自然調査団 1990
- タテハチョウ科 Nymphalidae
1. キタテハ *polygonia c-aureum*
(Linné)

- 3I-LR-56-0066, 0095, 0096, 0097, 0098, 0099,
0100, 0101, 0210, 0211, 0219, 0220,
若宮 崇令 1980, 1981, 1982, 市民自然調査
団 1988, 1989
2. イチモンジチョウ *Ladoga camilla japonica*
(Ménétrières)
3I-LR-56-0073, 0074, 0075, 0076, 0082, 0083,
0238, 0243, 0244, 0249, 0250, 0251
沢木 基治 1973, 不明 1977,
若宮 崇令 1981, 市民自然調査団 1989, 1990
3. コミスジ *Neptis aceris intermedia*
(W.B. Pryer)
3I-LR-56-0084, 0085, 0086, 0087, 0088, 0089,
0090, 0091, 0092, 0093, 0094, 0224, 0233,
0234, 0235, 0236, 0269, 0270,
沢木 基治 1973, 不明 1977, 若宮 崇令
1979, 1980, 1981, 市民自然調査団 1988, 1989
4. ルリタテハ *Kaniska canace no-japonicum*
(von Siebold)
3I-LR-56-272
須田 真 1990
5. アカタテハ *Vanessa indica*
(Herbst)
3I-LR-56-241
市民自然調査団 1989
6. ミスジチョウ *Kalkasia phillyra excellens*
(Butler)
3I-LR-56-0114
若宮 崇令 1981
7. スミナガシ *Dichorragia nesimachus nesiotēs*
(Fruhstorfer)
3I-LR-56-0115
瀬尾 正文 1977
8. ヒメアカタテハ *Vanessa cardui*
(Linné)
3I-LR-56-0240
市民自然調査団 1989
- ジャノメチョウ科 Satyridae
1. ジャノメチョウ *Minois dryas bipunctatus*
(Motschulsky)
3I-LR-73-0028, 0029, 0030, 0159, 0160, 0171,
0172, 0173, 0174, 0175,
不明 1977 若宮 崇令 1979, 1981 市民自
然調査団 1990
2. クロヒカゲチョウ *Lethe diana*
(Butler)
3I-LR-73-0031, 0032, 0033, 0034, 0035, 0036,
0037, 0038, 0107, 0108,
0109, 0110, 0116, 0117,
0118, 0120
沢木 基治 1973, 若宮 崇令 1980, 1981,
市民自然調査団 1988, 1988, 1989
3. ヒメジャノメ *Mycalesis gotama fulginia*
(Fruhstorfer)
3I-LR-73-0042, 0071, 0072, 0073, 0074, 0146,
沢木 基治 1973, 若宮 崇令 1980, 市民自
然調査団 1989
4. ヒメウラナミジャノメ *Ypthima argus*
(Butler)
3I-LR-73-0043, 0044, 0045, 0046, 0047, 0048,
0049, 0050, 0051, 0079, 0080, 0081, 0082,
0137, 0138, 0139, 0143, 0144, 0186, 0187,
0188, 0189, 0190,
沢木 基治 1973, 不明 1977, 若宮 崇令
1980, 1981, 市民自然調査団 1989
5. コジャノメ *Mycalesis francisca perdiccas*
(Hewitson)
3I-LR-73-0052, 0053, 0054, 0075, 0076, 0077,
0078, 0148, 0149, 0150, 0197, 0198
沢木 基治 1973, 不明 1977, 若宮 崇令
1980, 市民自然調査団 1988
6. サトキマダラヒカゲ *Neope goschkevitschii*
(Ménétrières)
3I-LR-73-0055, 0056, 0057, 0058, 0059, 0060,
0090, 0091, 0155, 0202, 0203
沢木 基治 1973, 不明 1977, 若宮 崇令

1980, 1981, 市民自然調査団 1989

7. ヒカゲチョウ *Kirrodesa sicelis*
(Hewitson)

3I-LR-73-0063, 0064, 0065, 0066, 0067, 0083,
0084, 0085, 0086, 0121, 0122, 0123, 0124,
0125, 0133, 0134,

沢木 基治 1973, 若宮 崇令 1980, 1981,
市民自然調査団 1988, 1989

Ⅲ 生田緑地とその周辺の蝶相変化

1969年から1991年にかけて生田緑地で確認された蝶類を確認年度ごとに表1に示す。表1は青少年科学館収蔵蝶類標本を基に、文献資料を加えて作成した。文献資料のうち、渋谷(1971, 1972)は、生田緑地の報告がないので、生田緑地近隣の向ヶ丘(現在の宮前区樺平付近)、菅生の報告を用いた。

1990年現在、生田緑地および周辺で見られず、それ以前に1年以上みられた蝶は、ダイミョウセセリ、オオチャバネセセリ、イチモンジセセリ、ホソバセセリ、キマダラセセリ、アオバセセリ、チャバネセセリ、ミヤマセセリ、アゲハ、ミヤマカラスアゲハ、ツマグロキチョウ、ゴイシジミ、トラフシジミ、ツバメシジミ、オオミドリシジミ、ウラナミアカシジミ、コツバメ、キタテハ、ミスジチョウ、ヒメアカタテハ、アカタテハ、ゴマダラチョウ、クモガタヒョウモン、ヒオドシチョウ、オオムラサキ、ヒメジャノメ、ヒカゲチョウ、キマダラチョウ、アサギマダラの27種である。但し、ダイミョウセセリは1991年には確認されており、またオオチャバネセセリ、イチモンジセセリ、キタテハ、ヒメジャノメ、ヒカゲチョウは1989年までは確認されていることから、これら6種については今後生田緑地と周辺で確認される可能性は高い。

ホソバセセリ、キマダラセセリ、アゲハ、ゴイシジミ、ツバメシジミは1980年あるいは1981年以降、アオバセセリは1971年以降、チャバネセセリは1972年以降、ヒオドシチョウは1973年以降、生田緑地周辺では姿が確認されていない。

ツマグロキチョウは1973年と1988年、オオミドリシジミは1973年と1989年、ゴマダラチョウは1971年、1972年と1989年のみの確認であるので、生田緑地と周辺では稀な蝶と言えよう。同様に、モンキアゲハ(1979年、1990年)、オナガアゲハ(1972年、1990年)も2年間

(2度)しか確認されておらず、稀な蝶といえるかも知れない。

1990年以前で1年のみ(1度のみ)しか確認されていない蝶は、ミヤマカラスアゲハ(1970年)、トラフシジミ(1981年)、ウラナミアカシジミ(1969年)、ミスジチョウ(1981年)、オオムラサキ(1975年)の5種である。

ミヤマカラスアゲハは1970年のみ確認され本来が山地性の蝶である。

ウラナミアカシジミはミドリシジミ類に属する。生田緑地及び周辺で確認されたミドリシジミ類は、ウラナミアカシジミとアカシジミ、ウラゴマダラシジミ、ミズイロオナガシジミ、オオミドリシジミ、ミドリシジミの5種である。オオミドリシジミは1972年と1989年のみ確認され生田緑地及び周辺で稀な蝶といえる。

ウラナミアカシジミの幼虫の食草は、クヌギ、コナラ、ミズナラ、ナラガシワ、アベマキ、カシワなどのナラ類で、守山(1988)は若いクヌギを好む(愛知以西ではアベマキ)とし、さらにクヌギのひこばえに産卵することから、クヌギとウラナミアカシジミとの強い結びつきを論じている。同様に、オオミドリシジミの幼虫の食草もクヌギ、コナラのナラ類で、これら樹木の背丈が高くなると生育できないとされている。生田緑地を含め関東地方平野部の気候的極相林は常緑のカシ類からなる照葉樹林であるが、人類活動の進展とともに、照葉樹林を伐採したあとに、クヌギ・コナラからなる二次林が形成されてきた。ウラナミアカシジミ、オオミドリシジミは、定期的な伐採を受ける良く管理された二次林としての雑木林にその生活史を密着させた蝶といえる。雑木林が放置されナラ類の背丈が高くなると、これらミドリシジミ類は生息できなくなると考えられている。守山(1988)によってまとめられた東京都港区の国立科学博物館附属自然教育園の「都市部における蝶類の消息」によれば1950年頃からウラナミアカシジミ、オオミドリシジミなどミドリシジミ類は姿を消している。さらに、西多摩昆虫同好会(1991)は、雑木林の消滅とともに、武蔵野台地上では1960年代後半以降、オオミドリシジミ・ウラナミアカシジミ・アカシジミ・ミズイロオナガシジミの順に姿を消しつつあることを報告している。現在、生田緑地を含め周辺の雑木林は、失われつつあるか、生田緑地のように放置され林床はアズマネザサに覆われ樹木の伸びるに

表 1 - 1 生田緑地とその周辺の蝶相

○印は川崎市青少年科学館標本
 △印は林ほか(1991)で、採集確認されたもの
 ▲印は林ほか(1991)で、目撃確認されたもの
 Kは、神部昭夫(1976、1988)
 Mは丸山(1971)
 Sは渋谷(1971、1972)

No.	和名	1969	1970	1971	1972	1973	1975	1977	1979	1980	1981	1982	1983	1988	1989	1990	1991	備考
	セセリチョウ科																	
1	ダイミョウセセリ			S	S	○			K	○	○						○	
2	オオチャバネセセリ			S	S	○				○	○				○			
3	イチモンジセセリ			S	S	○				○	○			○	○			
4	コチャバネセセリ			S	S	○				○	○						△	
5	ホソバセセリ			S				○		○								
6	キマダラセセリ			S	S	○				○								
7	アオバセセリ	M		S														
8	チャバネセセリ	M			S													
9	ミヤマセセリ			S											▲			
	アゲハチョウ科																	
10	カラスアゲハ			S	S				○		○		○				▲	
11	クロアゲハ			S	S			○		○	○						▲	
12	アオスジアゲハ			S	S						○						△	
13	キアゲハ				S			○			○						△	
14	アゲハ			S				○	○	○	○							
15	モンキアゲハ								○								▲	
16	オナガアゲハ				S												▲	
17	ミヤマカラスアゲハ		M															
	シロチョウ科																	
18	キチョウ			S		○		○	○	○	○			○			△	
19	モンキチョウ			S	S							○			○		▲	
20	ツマキチョウ			S	S	○		○				○					○	
21	モンシロチョウ			S	S	○		○				○		○	○	○		
22	スズグロシロチョウ			S	S	○		○					○	△			○	
23	ツマグロチョウ					○									▲			
	シジミチョウ科																	
24	ルリシジミ			S	S	○		○			○			○			△	
25	ベニシジミ			S	S	○				○	○			○	○	○		
26	ウラギンシジミ					○		○	○	○				○			▲	
27	ミズイロオナガシジミ				S	○					○		○	○			△	
28	ウラナシジミ			S	S	○				○							△	
29	アカシジミ				S	○					○			○			○	
30	ゴイシジミ			S	S	○			K	○								
31	トラフシジミ										○							
32	ウラゴマグラシジミ					○					○			○			○	
33	ツバメシジミ			S	S	○				○	○							
34	ヤマトシジミ			S	S	○				○				○	○	○		
35	ミドリシジミ					○								○			△	
36	オオミドリシジミ					○											▲	
37	ムラサキシジミ													○	○	△		

表1-2 生田緑地とその周辺の蝶相

No.	和名	1969	1970	1971	1972	1973	1975	1977	1979	1980	1981	1982	1983	1988	1989	1990	1991	備考
38	ウラナミアカシジミ	M																
39	コツバメ															△		
39	テングチョウ科																	
40	テングチョウ															○		
40	タテハチョウ科																	
41	キタテハ			S	S					○	○	○		○	○			
42	イチモンジチョウ			S	S	○		○			○				△	○		
43	コミスジ			S	S	○		○	○	○	○			○	○	▲		
44	ミスジチョウ										○							
45	スミナガシ															△		
46	ヒメアカタテハ			S	S										○			
47	アカタテハ			S											○			
48	ルリタテハ															○		
49	ゴマダテチョウ			S	S										△			
50	クモガタヒョウモン		M															
51	ヒオドシチョウ			S	S	S												
52	オオムラサキ						K											
52	ジャノメチョウ科																	
53	ジャノメチョウ			S				○	○		○					○		
54	クロヒカグチョウ					○				○	○			○	○	△		
55	ヒメジャノメ			S	S	○				○					○			
56	ヒメウラナミジャノメ			S		○		○		○	○				○	△		
57	コジャノメ			S		○		○		○				○	△	△		
58	サトキマダラヒカゲ			S		○		○		○	○				○	△		
59	ヒカグチョウ			S	S	○				○	○			○	○			
59	マダラチョウ科																	
60	アサギマタラ															△		

まかせたままである。武蔵野台地のクヌギーコナラ林に比べ、生田緑地のそれは、クヌギの占める林分がもともと少ないとはいえ、このような自然環境の現状が、ミドリシジミ類の生息を阻害するのではないかと危惧される。

ミスジチョウの幼虫の食草は、カエデ類である。西多摩昆虫同好会（1991）によれば、都区内では現在絶滅したとされている。

オオムラサキは渋谷（1971, 1972）によれば、菅生栗木、黒川の北部丘陵地域で生息が確認されていた。

1989年以前に確認されず、1990年以降新たに確認されたのは、コツバメ、テングチョウ、スミナガシ、ルリタテハ、アサギマダラの5種である。これら蝶類の今後の出現については注意する必要があると思われる。テングチョウは、山地性が強く、平地で見られることの少ない蝶であったが、1981年頃から、多摩丘陵や都区内でもよく見られるようになっている（西多摩昆虫同好会, 1991）。アサギマダラの幼虫の食草はキジョランであることから、アサギマダラは偶産種と考えられる。

摘 要

1973年から1991年にかけて、生田緑地で採集された蛾類を除く蝶類の標本を整理した。整理された蝶類標本は7科42属48種である。これら蝶類標本と文献資

料によって1969年から1991年までの生田緑地とその周辺の蝶相変化について、若干の考察を行った。アオバセセリ、チャバネセセリやウラナミアカシジミ、オオムラサキなどは、1969年から1972年にかけて姿がみられたが、以後生田緑地で見られなくなっている。ゴイシシジミ、ツバメシジミなどは1982年以降、生田緑地で見られなくなっている。

引用文献

- ・林 長閑・小林正人（1991）川崎市のトンボ類・チョウ類. 川崎市自然環境調査報告Ⅱ. pp.95-116, 95-116. 川崎市教育委員会.
- ・神部昭夫（1976）栴形山のオオムラサキ. 神奈川虫報（49）：265.
- ・神部昭夫（1988）分布資料, 川崎市黒川にミヤマチャバネセセリ産す. 神奈川虫報（84）：315.
- ・丸山 清（1971）川崎北部の蝶. 神奈川虫報（37）：1-8.
- ・守山 弘（1988）自然を守るとはどういうことか. 260pp. 農村漁村文化協会
- ・西多摩昆虫同好会（1991）東京都の蝶. 200pp. けやき出版.
- ・渋谷 誠（1971）相模蝶報. 相模蝶類同好会（13）：22.
- ・渋谷 誠（1972）川崎の蝶. 40pp. 渋谷 誠.